（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	里の山守プロジェクト
事業主体 （連絡先）	岳都・松本 山岳フォーラム実行委員会 連絡先：山ゼミ運営事務局　0263-87-3042
事業区分	（５）環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,626,658 円（うち支援金：　4,219,000 円）

事 業 内 容

里山の整備技術講習及び整備活動を通じて継続的な環境保全を行える体制づくりと、里山を活用した健康づくりや登山技術等向上のためのイベントを通じて、登山事故軽減のためのプログラムの造成を図りました。

≪整備事業≫
- 倒木処理等を行える人材育成　２日間講習×2 回開催
- 土中環境学習会　２日間講習×2 回開催
- 長峰山登山道整備及び御殿山遊歩道整備　全 11 回開催

≪活用事業≫
- インターバル速歩講習　座学・実技　各 2 回開催
- インターバル速歩インストラクター養成　３名
- 山岳医療講習　４回開催

【長峰山登山道整備】

【目標・ねらい】

① 多地区連携型　整備体制づくり
② 環境に優しい里山整備ノウハウ
③ 医療的視点にたった登山技術向上
④ 里山の利活用推進

事 業 効 果

≪整備事業≫
- 倒木処理を行える人材育成及び土中環境学習会には、県内外から延べ 104 名（目標：160 名）の参加を頂き環境に優しい里山の整備方法を学ぶことができ、長峰山・御殿山での整備活動においては、延べ 102 名（目標：120 名）の参加を頂き、環境に優しい整備を実際に体験していただくことができました。
- 4 つのプログラムがそれぞれ個別開催ではあったものの、人の交流が生まれるとともに今後の整備活動における体制づくりとノウハウの蓄積ができました。

≪活用事業≫
- インターバル速歩講習には 50 名（目標：80 名）の参加をいただき、普段の生活の中で登山体力の向上を図る方法を学び、山岳医療講習には 33 名（目標：40 名）の参加を頂き、登山時のバイタルサインの測定等を通じて自らの心身の状態を理解していただく機会となりました。
- 医療的視点にたった登山講習がほとんど開催されていない中、インターバル速歩を利用した登山体力の向上プログラムと山岳医療講習の親和性・必要性が明確となり、新たな商品造成の可能性が高まりました。

※自己評価【　B　】

【理由】
整備事業・活用事業とも当初の目的である体制づくりや商品造成は達成できたが、目標の集客人数には至らなかった。

今後の取り組み

- 長峰山及び御殿山における整備活動は、協力いただけるボランティアスタッフが約倍増したことから引き続き継続活動としつつ、整備活動を行う団体の法人化を検討することとなりました。
- インターバル速歩及び山岳医療講習においては、プログラム内容をより細分化・専門化することで、新たなプログラム造成を図るとともに、登山事故軽減を目的とした法人化を図ることとなりました。（令和８年度末予定）

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある